

小島憲之 （おじま けんし） 國文學者。大正二年二月十五日生。取縣生れ。平成一十年一月十一日歿（一九三一年）。昭和十二年京都帝國大學文學部卒業。二十七年大阪市立大學教授、四十年日本學士院賞因賜賞受賞、五十一年龍谷大學特任教授。萬葉學會代表。

著書『校本肥前風土記とその研究』（合著、昭和二十六年）二月一日佐

賀・佐賀縣史論纂委員會 賀・佐賀縣郷土研究會（編輯）、『懷風藻 文垂秀麗集 本朝文粹』（校

注、昭和二十九年八月五日岩波書店「日本古典文學大系」）、『こと


ばの重み―鷗外の謎を解く漢語』（昭和五十九年一月十五日新潮社

「新潮選書」）、『萬葉以前（上代びとの表現）』（昭和六十二年九

月一日岩波書店）等。



ことばの重み
—鷗外の謎を解く漢語—
小島憲之



新潮選書

ことばの重み 鷗外の謎を解く漢語 新潮

焦点を一語に合わせよ

やがて、周辺が夜空の星のように見えてくる。漢語をキーワードに鷗外の実像に迫る、推理小説にまさる、学問の面白さ。

小島憲之
新潮社

新潮社版 183K6-10-600256-A, C0361 183QE 定価830円